

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

高年齢者の私たちが等しく望んでいる新しい施設ウエルビユーいずみが十一月にオープン。まことに喜ばしく思います。一日も早く見たいものです。すね児玉ミチエ 65歳・八橋

高年齢者が年々増加している現状から、ウエルビユーいずみのような福祉施設が市内随所にできたらいいなあと願っています(黒木博 51歳・茨島)

今年の夏で秋田に来て一年がたちました。秋田で私が一番気に入っているのが大森山動物園。以前住んでいた県には動物園がなかったため、子どもにも本物の動物を見せることができ、うれしく思っています(和田恵 29歳・楢山)

五か月の娘を連れて大森山動物園へ行きました。最初はごきげんで見ていたものの、半分も動物を見ないで眠ってしまいました。残念…。八月三十一日に、改築のため閉館した男鹿水族館にも連れて行きたかったけれど、風邪をひいて行けませんでした(宮田)

瑞穂 21歳・御野場)
二女がもうすぐ二歳。長女とけんかしながらも仲良く遊べるようになり、気持ちに余裕が出てきました。二人とも小学生になるまでは自分の手で育てたいと思っています。家にいる間、自分のために何か勉強したいなと考えています。今後につながるように…(堀野真紀子 25歳・寺内)

秋田市に転勤になり、三か月になりました。週末には地元に戻るため、なかなか市内めぐりができずにいます。広報を隅から隅まで読んで、マル得情報をキヤッチ！週末には家族をよんで、散策するぞ(佐藤恵津子 42歳・仁井田)

年を重ねるごとに月日の過ぎる早さを痛感し、老いをいかに生きるか、毎月チャレンジャーの気持ちで過ごしていきます(佐藤クラ子 70歳・下新城)

現在、妻は臨月。二歳の娘は実家に預けています。電話の声と写真を見ながらの晩

地域の話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX (866)2287

農林水産省職員が農家で住み込みの現地研修 土にふれて国の仕事に生かします!

今月2日から10月1日までの1か月間、四ツ小屋の三浦要さん・君子さん宅で、農林水産省の岡崎敏彦さん(25歳)が農作業の現地研修を行っています。これは、農作業を肌で体験して国の仕事に生かそうという研修です。

岡崎さんは、三浦さん宅で生活し、野菜の種まきや収穫、稲刈りの準備などを行っています。「子どもが1人増えたみたいだな。農

業の話もできるし、家の中が明るくなった感じだ」と三浦さん。

名古屋市出身の岡崎さんは、学生時代に農学を学び、農作業も経験しています。「農作業自体が特別大変というわけではなくて、農業を取り巻く状況が厳しいですよ」という岡崎さん。

入省2年目のこの研修で、農業を支える行政の役割の大きさをあらためて感じていたようでした。



君子さんに教わりながら、ホウレンソウの収穫。なかなか、いい手つきです